

中学地理プリント（過去問類似）

北アメリカ州

名前

得点

/9

問1 五大湖周辺からピッツバーグにかけての資源分布を示す資料において、四角の記号で示される石炭や、三角の記号で示される鉄鉱石の産地が近隣に点在している状況が確認できる都市はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. ピッツバーグ 2. ヒューストン 3. サンフランシスコ 4. ニューオーリンズ

問2 アメリカ合衆国における産業構造の変化について述べた次の文のうち、カリフォルニア州のシリコンバレーの説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

1. スタンフォード大学などの研究機関と連携し、高度な専門知識を持つ人材が集まることで先端技術産業が発展した地域。
2. 五大湖周辺に位置し、鉄鉱石や石炭の資源を背景に、自動車工業などの伝統的な重工業が発達した地域。
3. 大西洋岸の中核機能を担う都市であり、金融や情報、出版といった経済活動の拠点となっている地域。
4. 北緯37度以南の温暖な地域に属し、1970年代以降に安価な労働力を求めて工場が進出した工業地帯。

問3 北アメリカ大陸の中央部などで見られる、360度回転する散水機（スプリンクラー）を用いて大規模に耕作地を潤す灌漑農業方式を何といいますか。空から見ると耕作地がきれいな円形に並んで見えるのが特徴です。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. センターピボット方式 2. 等高線耕作 3. 棚田 4. オアシス農業

問4 アメリカ合衆国のサンベルトに含まれる地域のうち、カリフォルニア州に位置し、近隣の大学や研究機関と連携することで多くのIT企業が集積した、世界的な先端技術産業の拠点を何と呼びますか。（2026年 千葉公立入試 類似）

1. シリコンバレー 2. デトロイト 3. ヒューストン 4. ウォール街

問5 アメリカ合衆国における移民の傾向について述べた次の記述のうち、統計的な事実として最も適切なものはどれですか。なお、近年の入国者数の推移をみると、1990年代から2010年代にかけて一貫してメキシコが第1位となっており、次いで中国、フィリピン、キューバなどの国々からの流入が続いています。（2022年 兵庫公立入試 類似）

1. 地理的に近いメキシコなどの中南米諸国からの移住者が多く、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高まっている。
2. カナダやイギリスなど、公用語が英語である国々からの移住者が急増しており、文化の同質化が進んでいる。
3. アフリカ諸国からの入国者数が最も大きな割合を占めており、労働力不足を補う主要な要因となっている。
4. 1990年代以降、ヨーロッパ諸国からの移民が全体の8割以上を占めるようになり、伝統的な文化が再構築されている。

問6 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が参加する北米自由貿易協定（NAFTA）の仕組みやその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 域内の関税を撤廃することで、部品や製品の輸出入を自由にし、経済の一体化を進めた。
2. 加盟国間で共通の通貨を導入し、国境を越えた人の移動を完全に自由化した。
3. 域外の国からの輸入品に対して高い関税を一律に課し、北アメリカの農業を保護した。
4. 東南アジア諸国との協力関係を築くため、アメリカ合衆国を中心に設立された。

問7 1970年代以降、アメリカ合衆国の北東部から南部・西部の「サンベルト」へと、多くの企業や人口が移動しました。この背景にある、先端技術産業がサンベルトで発展した理由として適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。
2. 原料となる鉄鉱石や石炭が豊富で、巨大な製鉄所が古くから建設されていたため。
3. 大西洋を挟んだヨーロッパ諸国との貿易に、地理的に最も有利な位置であったため。
4. 冬の寒さが厳しいため、精密機械を冷却するのに適した気候条件が整っていたため。

問8 世界の大豆の生産統計において、生産量の上位4か国には、南北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチンのほかに、アジア大陸の東部に位置する国が1つ含まれています。このアジアの国と、北アメリカにある主要な生産国の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国と中国 2. カナダと中国 3. アメリカ合衆国とインド 4. カナダとインド

問9 北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. ロッキー山脈 2. アンデス山脈 3. アルプス山脈 4. アパラチア山脈

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ピッツバーグ	アメリカ合衆国北東部に位置するピッツバーグは、原料産地に近いという立地条件（原料指向型）を活かして発展しました。これに対し、ヒューストンは石油化学工業、サンフランシスコ周辺は先端技術産業（シリコンバレー）といった、異なる特徴を持つ工業都市です。
問2	答え 1 スタンフォード大学などの研究機関と連携し、高度な専門知識を持つ人材が集まることで先端技術産業が発展した地域。	シリコンバレーの発展には、大学の研究成果をビジネスに結びつける産学連携や、新しい事業に投資するベンチャーキャピタルの存在が大きく関わっています。五大湖周辺のデトロイトなどが自動車工業で衰退を見せた「ラストベルト（さびついた地帯）」と呼ばれたのに対し、先端技術によって経済成長を牽引しました。
問3	答え 1 センターピボット方式	乾燥した地域において、地下水を汲み上げ、中心点を軸に巨大な散水機を回転させることで、大規模な農地に効率よく水を供給する仕組みです。散水範囲が円状になるため、上空から見ると円形の農地が幾何学的に並ぶ独特の景観が形成されます。
問4	答え 1 シリコンバレー	カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊に位置するシリコンバレーは、スタンフォード大学などの研究機関との産学連携が盛んで、半導体やソフトウェア、インターネット関連の企業が数多く誕生した先端技術産業の聖地です。デトロイトはかつての自動車産業の中心地、ヒューストンは宇宙産業や石油産業で知られていますが、IT産業に特化した世界的な拠点としてはシリコンバレーが該当します。
問5	答え 1 地理的に近いメキシコなどの中南米諸国からの移住者が多く、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高まっている。	アメリカ合衆国は、地理的に隣接するメキシコをはじめ、中南米のスペイン語圏から多くの移民を受け入れています。これらの人々は「ヒスパニック」と呼ばれ、現在の人口構成において大きな影響力を持っています。また、近年では中国やフィリピンなどからのアジア系移民も増加しており、多民族・多文化社会としての側面がより強まっています。
問6	答え 1 域内の関税を撤廃することで、部品や製品の輸出入を自由にし、経済の一体化を進めた。	NAFTAは自由貿易の推進を目的としており、関税を撤廃することで3か国間の分業体制が進みました。例えば、アメリカの企業が労働賃金の安いメキシコに工場を建設し、生産した製品を再びアメリカへ無関税で輸出するといった動きが活発になりました。共通通貨の導入などは欧州連合（EU）で見られる特徴であり、NAFTAにはありません。
問7	答え 1 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。	サンベルトが発展した背景には、広大な土地と安価な労働力、さらに企業を誘致するための積極的な優遇政策があります。また、温暖な気候（サニーな気候）が冷暖房設備の普及とともに、労働者にとっても生活しやすい環境として選ばれたことも、産業と人口の移動を後押ししました。
問8	答え 1 アメリカ合衆国と中国	大豆の生産は、広大な農地を活用した企業的農業が盛んな南北アメリカ大陸の国々（アメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチン）が中心となっていますが、アジアにおいては東アジアに位置する中国が上位4か国に含まれる主要な生産国です。カナダやインドも農業が盛んな国ではありますが、大豆の生産量においてはこれら4か国が世界の中心的な役割を担っています。
問9	答え 1 ロッキー山脈	北アメリカ大陸の西部に位置する新期造山帯の山脈です。環太平洋造山帯の一部であり、プレートの運動によって押し曲げられた地層が隆起して形成されました。同じ新期造山帯でも、南アメリカ大陸にあるものはアンデス山脈、ヨーロッパにあるものはアルプス山脈と呼ばれます。